

リンクスの 事業再生現場 レポート 第90回



(株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL: 028-634-5088
Mail: info@rincs.biz
URL: http://www.rincs.biz/

【粉飾決算】

銀行から不正に融資金を騙し取ったとして、暗れ着のレンタル・販売会社「はれのひ」の社長が逮捕されました。今年の成人式で大勢の新成人をトラブルに巻き込んだ会社です。債権者名簿を見ますと総債務は10億円、そのうち金融機関からの借入は13行から4億円弱のようです。

同様に、昨年話題になった「てるみくらぶ」の社長も融資金を詐欺取得したとして逮捕されています。こちらの総債務は100億円、そのうち金融機関は32億です。どちらの会社も多額の融資金を搾取したのですが、逮捕にまで至った決定的要因は、一般人を巻き込んで社会問題化してしまったことにありとされます。大勢の被害者を出して、ワイドショーでも格好の事件として騒がれていましたので当然のペナルティだと思います。

読者の中にも過去に粉飾をした方や、粉飾決算せざるを得ないかなと考えている方がいるかもしれません。私共も粉飾決算をしている会社に関与することも多々あります。今回の「はれのひ」の社長逮捕を聞いて夜も眠れないほど心配している方もいるのではと思います。

粉飾決算で逮捕されることは極めてレアなケースですので、「はれのひ」のような事態になるとは思えませんが、極めて問題な状況であることには間違いありません。粉飾決算で体面を維持してきたものの、耐え切れなくなって自らの命で清算したというような悲劇も耳にします。今回は、粉飾決算について思っていることを書き記してみました。

と思います。

①粉飾決算する理由

黒字企業が突然損失を出し、金融機関からの借入にて資金繰りを回していた会社にとって、金融機関借入がストップすることを心配するあまり、粉飾して黒字にするケースがほとんどです。

②粉飾の手法

売上を増やすことが一般的です。しかし、売上を増やしても、その売上は回収（現金化）できるものではないので、売掛金（架空）が増加します。または、売掛金増加では怪しまれるために、在庫を増加させていることも多々あります。（いずれも金融機関の厳しいチェックがあると思われますが…）

③粉飾せざるを得ないと思ったとき

赤字決算を出したくないために、翌期の期初の売上を当期の売上として計上するくらいなら、軽い粉飾なので問題ないと考えがちですが、そこには深い落とし穴があります。翌期は期初から赤字を抱えます。その赤字を隠すために粉飾が拡大したときには後戻りできません。

④どうしたら良いか

赤字は赤字として自らが納得することです。そして、赤字の原因分析を行い、その対策を講じることです。金融機関にはそれを書面で提出して理解してもらうことです。

今後AI化が進んでいきますと、ベテラン審査マンの粉飾を見抜く勘所が数値化されてきます。粉飾という不発弾が暴発する前に処理が必要です。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。